

宮古地域の職業別・年齢別求職者の状況（常用）

【平成16年8月時点の有効求職者】

	24歳以下			25～34歳			35～44歳			45～54歳			55歳以上			年 齢 計		
	求人	求職	倍率	求人	求職	倍率	求人	求職	倍率	求人	求職	倍率	求人	求職	倍率	求人	求職	倍率
○専門的・技術的職業 建築・土木技術者、看護師、歯科衛生士、保育士、税理士 他	25	24	1.04	41	40	1.03	19	24	0.79	3	39	0.08	3	15	0.20	91	142	0.64
○管理的職業 会社・団体・組合役員、管理職員、支店・工場の長等 他	0	0	0	4	0	0	1	2	0.50	0	2	0.00	0	1	0.00	5	5	1.00
○事務的職業 一般・経理・倉庫係事務員、集金員、検針員、レジ係 他	21	59	0.36	20	119	0.17	6	59	0.10	2	44	0.05	3	34	0.09	52	315	0.17
○販売の職業 卸売・小売店販売員、外交員、クリーニング取次店員 他	28	54	0.52	35	54	0.65	24	37	0.65	17	28	0.61	4	18	0.22	108	191	0.57
○サービスの職業 理・美容師、クリーニング工、調理人、駐車場管理人 他	19	19	1.00	14	28	0.50	4	23	0.17	2	17	0.12	1	15	0.07	40	102	0.39
○保安の職業 警備員、夜警員、監視員、建設現場誘導員、道路管理員 他	49	3	16.33	48	3	16.00	47	3	15.67	47	5	9.40	28	11	2.55	219	25	8.76
○農林漁業の職業 稲作・畑作・園芸等作業員、畜産・伐採・漁労作業員 他	2	0	6	2	3	0.67	1	3	0.33	0	2	0.00	0	12	0.00	5	20	0.25
○運輸・通信の職業 タクシー・トラック運転手、無線通信員、電話交換手 他	12	13	0.92	10	39	0.26	2	38	0.05	2	33	0.06	1	27	0.04	27	150	0.18
○技能工・採掘・製造等 機械組立工、食料品製造工、大工、土木作業員、清掃員 他	67	132	0.51	70	166	0.42	45	148	0.30	16	218	0.07	8	255	0.03	206	919	0.22
職 業 計	184	309	0.60	233	456	0.51	174	340	0.51	104	395	0.26	58	391	0.15	753	1,891	0.40

注1 表内は常用雇用分を掲載しており、臨時雇用、季節雇用、パート分は含まれていません。
注2 求人数は、求人年齢の上限と下限の範囲で集計し、年齢階層に振り分けているため、業種計と内訳に誤差があります。
注3 求職者数は、分類不能の職種があるため、職業計と内訳に誤差があります。

【資料提供：宮古公共職業安定所】

然として厳しい状況にある。

八十七人で○・三九倍と依然として厳しい状況にある。

沼崎町長 七月時点の県内の有効求人倍率は○・四六倍、宮古管内は○・四三

者との失業率は、一〇割となっており、失業を増やさない施策を考えるべきではないか。

雇用問題は特に深刻で、フリーターの数が平成十三年に四百七十七万人と激増しており、雇用情勢は依然として厳しい。その中でも若者の失業率は、一〇割となっており、失業を増やさない施策を考えるべきではないか。



鎌田孝典議員

雇用対策

町の考えを聞く

沼崎町長 本町では、社会福祉の充実、推進を図るため、多くの福祉施策の推進をしてきた。その間には、

町長はどんな政策を考えているか。

福祉問題 町民の意見・要望を聞き検討

新たな雇用策として提案の、障害者入所施設の設置は、国の設置基準や費用の問題から極めて困難である。公

討していく。

社会経済情勢の変化に伴い、その都度施策の見直しも行ってきた。

弱者の福祉を後退させるな

務員の退職後の公的部門への再就職は基本的には禁止できない。企業誘致は難しい問題であるが努力する。

新しい問題だが企業誘致に努力 新たな雇用確保の対策を